

NACISIS-CAT における著者名典拠レコード その機能と作成方法

酒井 清彦・京藤 貫

国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課

はじめに

- 1 著者名典拠レコードの目的
 - 2 著者名典拠レコードの内容
 - 3 著者名典拠レコードの参照機能
 - 4 著者名典拠レコードの作成
 - 5 著者名典拠レコードの作成支援
 - 5.1 参照ファイルの導入
 - 5.2 リンク形成作業中の支援
 - 6 著者名典拠レコードの修正
- おわりに

はじめに

目録システム（NACISIS-CAT）は、図書館が所蔵する学術資料の目録情報（図書や雑誌のタイトルなどの情報）及び所在情報を全国規模のデータベースとして構築するシステムです。

このシステムには、書誌ファイル、所蔵ファイル及び典拠ファイルがあります。

書誌ファイル、所蔵ファイルにはそれぞれ図書と雑誌の区分があります。

一方、典拠ファイルには、著者名典拠と統一書名典拠があります。

NACISIS-CAT では、総合目録データベース内の各レコード（書誌、所蔵、著者名典拠、統一書名典拠等）はお互いに関連付けられています。この関連付けのことをリンクと呼んでいます。

現在の総合目録データベースでは、次のようなリンクが形成されています。

- | | | |
|-----|--------|--------|
| (1) | 書誌 | 所蔵 |
| (2) | 書誌 | 書誌 |
| (3) | 書誌 | 著者名典拠 |
| (4) | 書誌 | 統一書名典拠 |
| (5) | 著者名典拠 | 著者名典拠 |
| (6) | 統一書名典拠 | 統一書名典拠 |

これらのリンク関係は、各目録担当者が総合目録データベースに書誌レコードを登録する際に、必要なレコードとリンクを作成する作業を行うことによって成立するものです。

本日のこのセッションでは、NACSIS-CAT のこの仕組みの中で、著者名典拠レコードがどのように利用されているか、その参照機能と作成方法を紹介したいと思います。

1 著者名典拠レコードの目的

NACSIS-CAT においてデータをどのように作成すべきかを示した「目録情報の基準」(最新版は「第4版」1999年12月刊行)のp.49に、著者名典拠レコードの目的及び機能として、次の3点が挙げられています。

- (1) 書誌レコードの著者標目の形を統一し、一元的に管理する
- (2) 同一著者による著作の集中を図る
- (3) 統一された著者標目以外に検索が予想される他の形や、関連する他の著者標目に関する情報を記録することによって、同一著者に対する多面的な検索を可能にする

第一の項目が目的であり、第二及び第三は、それによって実現される機能です。

著者名典拠レコードの目的は、いろいろな形で著作を公表する著者について、それぞれの名前をばらばらに登録するのではなく、一つの名前の下にまとめて管理できるように集約することです。

例えば、1900年頃を中心に活躍した文豪である幸田露伴は、「幸田露伴」「蝸牛露伴」「幸田成行」と3つの名前を使って著作を発表しています。「幸田露伴」は知られているでしょうが、それ以外の名前については余り知られていません。書誌レコード上に記録された「蝸牛露伴」「幸田成行」が「幸田露伴」であることを標目の形からも明らかにしておく必要があります。したがって、「蝸牛露伴」「幸田成行」が著者として記録された書誌レコードでも、著者名標目としては、「幸田露伴」を記録するようにします。そして、この「幸田露伴」が標目の統一された形、著者名典拠レコードとなります。

標目が統一され、著者名典拠レコードとして管理されると、一人の著者が多様な名前で公表した著作を一つの著者名典拠レコードに集中することが可能となります。さらに、他の名前で検索しても、統一された形も含めた検索結果がもたらされます。

2 著者名典拠レコードの内容

それではこれから、目録システムにおける著者名典拠レコードの参照機能を見てみましょう。

著者名典拠レコードは、直接検索することができます。その他にも、書誌レコードとリンクしていますので、あらかじめ検索した書誌レコードからリンク

を辿って著者名典拠レコードに到達することもできます。

ではまず著者名典拠ファイルを検索してみましょう。著者名典拠検索画面が出ています。

それぞれのボックスに名前がついています。上から AUTH (著者の名前), AKEY (著者名の短縮形), PLACE (場所), DATE (時間) について検索語を入力することができます。

では、先ほどの「幸田露伴」を検索してみることにします。AUTHに「幸田 露伴」と入力して検索します。

すると1件ヒットし著者名典拠詳細表示画面が表示されます。

著者名典拠詳細 (業務用サーバ)

修正 適用

初編一覧に戻る

書誌一覧

NAME

<DA00680164> CRIDT:19870213 CRIFA:FA001787 RNWDT:19990910 RNWFA:FA002611

HDNG:幸田, 露伴(1867-1947)(コウダ, ロハン)

TYPE:p

DATE:1867-1947

SF:幸田, 成行(コウダ, ナリユキ)

SF:幸田, 成行(コウダ, シゲユキ)

SF:Koda, Rohan, 1867-1947

SF:Koda, Nariyuki, 1867-1947

SF:蝸牛, 露伴(カギユウ, ロハン)

NOTE:小説・評論・史伝

NOTE:The pagoda, 1919 t.p. (Nariyuki Koda)

NOTE:EDSRC葉末集 / 蝸牛露伴著 (春陽堂, 1890.6)

[ダウンロード](#)

一番上にはこの典拠レコードのレコード ID が < > で囲まれて表示されています。

HDNG には、統一標目形が記録されています。漢字形の姓名を「 , 」(カンマ, スペース) で区切ったもの、及び必要に応じて付記事項(生没年や職業、専攻などが該当します。この場合は生没年が記録されています)と縦棒二本の後に標目形の読みが記録されています。

TYPE には、著者名典拠ファイルに収録することができる著者名典拠の種類「個人名(p)」「団体名(c)」「会議名(m)」のどれか一つが記録されます。

DATE には、個人の場合は生没年、団体の場合は設立年及び廃止年、会議名の場合は開催年を記録します。

その他にこの画面にはありませんが、PLACE フィールドもあり、これは出生地もしくは活躍した場所、団体の所在地、会議の開催地を記録することができます。

SF フィールドは「See From」の略で「から見よ参照形」を記録するフィールドです。先ほど例に挙げた二つの名前のほかに、ローマ字形の情報も記録されています。また、読み方も二通り考えられるので、検索漏れがないように配慮されています。このような配慮は、目録作成を行う参加図書館の目録担当者が後々の利用上の便宜を考えて、ボランティアで入力しているものです。

その下に NOTE フィールドがあります。ここにはこの典拠レコードを作成又は修正することになった根拠資料についての情報が記録されています。新たに作成された場合には「SRC」、修正された場合には「EDSRC」に続けて根拠の

資料についての書誌事項が自動的に埋め込まれます。

又、この画面には出てきませんでしたが、SAF フィールドもあります。こちらは「See Also From」の略で「からも見よ参照形」が記録されます。これについては後ほど実例をご覧くださいながらご紹介します。

NACISIS-CAT システムが自動的に設定するフィールドを含めた著者名典拠レコードのレコード項目は以下の表のとおりです。

項目名 (識別項目名)	データ要素	データ入力レベル	内容及び採り入れ情報																		
時期 (DATE)	<table border="1"> <tr><td>生年、設立年</td><td>○</td></tr> <tr><td>没年、廃止年</td><td>○</td></tr> <tr><td>設置年</td><td>○</td></tr> </table>	生年、設立年	○	没年、廃止年	○	設置年	○	○	統一書形 (HDNG) にかきこめる時期 (設置年) を記録することができる 個人の場合は、生没年を記録する 団体の場合は、設立年、廃止年を記録する 企業の場合は、設置年を記録する 正確な年代は、種別記号を「-」で示す (198- 19- 98) 近似的な年を記録する場合は、「:」で示す												
生年、設立年	○																				
没年、廃止年	○																				
設置年	○																				
からも見よ参照 (SF)	<table border="1"> <tr><td>統一書形フラグ</td><td>○</td></tr> <tr><td>からも見よ参照形</td><td>M</td></tr> <tr><td>名符</td><td>M</td></tr> <tr><td>名符の整理</td><td>A</td></tr> <tr><td>名符のロキ</td><td>A</td></tr> </table>	統一書形フラグ	○	からも見よ参照形	M	名符	M	名符の整理	A	名符のロキ	A	○	統一書形 (HDNG) とは異なる形 (からも見よ参照) を記録することができる SFフィールドの記録は、参照形にだけ行う 異なる目録形式に基づく標本の組み合わせでは、統一書形フラグとして「*」を記録することができる								
統一書形フラグ	○																				
からも見よ参照形	M																				
名符	M																				
名符の整理	A																				
名符のロキ	A																				
からも見よ参照 (SAF)	<table border="1"> <tr><td>リンク形式を行う場合</td><td></td></tr> <tr><td>リンク先著者名典拠レコードHDNG種別</td><td>S</td></tr> <tr><td>リンク先著者名典拠レコードID</td><td>S</td></tr> <tr><td>リンク形式を行わない場合</td><td></td></tr> <tr><td>からも見よ参照形</td><td>M</td></tr> <tr><td>名符</td><td>M</td></tr> <tr><td>名符の整理</td><td>A</td></tr> <tr><td>名符のロキ</td><td>A</td></tr> <tr><td>リンク先著者名典拠レコードID</td><td>U</td></tr> </table>	リンク形式を行う場合		リンク先著者名典拠レコードHDNG種別	S	リンク先著者名典拠レコードID	S	リンク形式を行わない場合		からも見よ参照形	M	名符	M	名符の整理	A	名符のロキ	A	リンク先著者名典拠レコードID	U	○	相互参照著者名典拠レコードの統一書形を記録することができる 参照先著者名典拠レコードとの間のリンク形式を行った場合は、両方の著者名典拠レコードのHDNG種別とIDが自動的に表示される SAFフィールドの記録は、相互参照著者名典拠レコードのみにだけ行う リンク形式を行わない場合は、参照先の著者名典拠レコードの統一書形 (HDNG) と異なる形 (からも見よ参照) を記録する SAFフィールドの記録は、対応する「からも見よ参照」のみにだけ行う
リンク形式を行う場合																					
リンク先著者名典拠レコードHDNG種別	S																				
リンク先著者名典拠レコードID	S																				
リンク形式を行わない場合																					
からも見よ参照形	M																				
名符	M																				
名符の整理	A																				
名符のロキ	A																				
リンク先著者名典拠レコードID	U																				

項目名 (識別項目名)	データ要素	データ入力レベル	内容及び採り入れ情報
注記 (NOTE)		M	統一書形 (HDNG) 決定上の書誌、刊行理由、修正履歴、等を記録する NOTEフィールドの記録は、注記ごとに行う 注記の種類は、次のようなものがある 1) 情報注記 統一書形 (HDNG) と参照形 (SF, 又はSAF) との関係 (例) 2以上の個人著者標本の関係 (例) 団体の沿革 2) 目録作成注記 統一書形、又は参照形を決定する際に参考とした目録 統一書形の発行理由 題は名符との関係 3) レコード修正注記 修正内容 修正事由 修正者 修正日時等 情報源を示すための要約記号は、次のとおりである タイム、出版年、出版データの抽出場所等を含む決定する際に参照した資料の名称
非規定フィールド (REM)		S	MARからの戻りデータに他のどのフィールドにも格納されなかったデータ (タグ、サブフィールド識別子等を含む) が、その戻りデータで表される (参照レコードのみ)

3 著者名典拠レコードの参照機能

さて、この著者名典拠レコードのデータ内容についてはご理解いただけたと思いますので、次に書誌レコードとの関係についてご説明します。著者名典拠詳細表示画面の右上「書誌一覧」というボタンをクリックします。

[図書誌検索](#) | [著者名典拠検索](#) | [統一書名典拠検索](#) | [参加組織検索](#) | [ログアウト](#)

著者名典拠詳細 (業務用サーバ)

[修正](#) | [活用](#) | [印刷一覧に戻る](#) | [書誌一覧](#)

NAME
 <DA00680164> CRTDT:19870213 CRIFA:FA001787 RNWDI:19990910 RNWFA:FA002611

HDNG:幸田, 露伴(1867-1947)口ウダ, ロハン

TYPE:p

DATE:1867-1947

SF:幸田, 成行口ウダ, ナリユキ

SF:幸田, 成行口ウダ, シゲユキ

SF:Koda, Rohan, 1867-1947

SF:Koda, Nariyuki, 1867-1947

SF:蝸牛, 露伴のギョウ, ロハン

NOTE:小説・評論・史伝

NOTE:The pagoda, 1919. 1p. (Nariyuki Koda)

NOTE:EDGR3C 某末集 / 蝸牛露伴著 (春陽堂, 1890.6)

この著者名典拠レコードとリンクしている書誌レコードが表示されます。検索結果 334 件となっています。

[図書誌検索](#) | [著者名典拠検索](#) | [統一書名典拠検索](#) | [参加組織検索](#) | [ログアウト](#)

図書誌検索一覧 (業務用サーバ)

[検索](#) | [クリア](#) | [新規](#) | [著者名典拠詳細に戻る](#) | 参照ファイル: [和国書](#) | 表示件数: 件

TITLE=
 AUTH=
 ISBN= ISBN= NDLCHNLCN=
 PUB= YEAR=
 PLACE= CTRY= LANG=
 SH=
 FITITLE= AKEY=
 ID= PID=
 FILE=

検索結果 334 件

1. BOOK <RA0328916> Pagoda, Sudi & Samzai / 3 stories by Rohan Koda ; translated by Chieko Irie Mûhlem ; ; ja. -- C.E. Tuttle, 1985. -- (Tut books ; 1).
2. BOOK <RA0773874> Pagoda, Skoll, and Samzai : three stories / by Koda Rohan ; translated from the Japanese with an introduction and notes by Chieko Irie Mûhlem. -- Chana-Japan Program, Cornell University, c1982. -- (Cornell University East Asia papers ; no. 26).
3. BOOK <RA1274146> Pagoda, Skoll, and Samzai : three stories / by Koda Rohan ; translated from the Japanese with an introduction and notes by Chieko Irie Mûhlem ; ; pbk. -- Chana-Japan Program, Cornell University, c1982. -- (Cornell University East Asia papers ; no. 26).
4. BOOK <RA14256822> The Pagoda / by Nariyuki Koda ; translated from the Japanese by Sakae Shioya. -- Ocura, 1909.
5. BOOK <RA028821> 新訂]大平記 / 幸田露伴校訂 ; 1-2編, 3編. -- 中央出版社, 1929.2. -- (新譯日本文學叢書 ; 第6, 8編)

例えば、この中の1番目のレコードを詳細表示させてみましょう。

[図書書誌検索](#) | [著者名典拠検索](#) | [統一書名典拠検索](#) | [書名照準検索](#) | [ログアウト](#)

図書書誌詳細 (業務用サーバ)

[修正](#) | [適用](#) | [子書誌一覧](#) | [説明一覧に戻る](#) | [所属登録](#) | [所属一覧](#)

BOOK

<BA03280916> CRTDT:11111112 RNWDT:19990511 RNWFA:EA012029

GMD: SMD: YEAR:1985 CTRY:jp TTL:eng TXTL:eng ORGL:jp

ISSN: NBN: LCCN: 94052723 NDLCN:

REPRO: GPON: OTHER:

VOL: ISBN:0004814996 PRICE:\$12.50 XISBN:

VOL: ja ISBN:4805504960 PRICE: XISBN:

TR:Pagoda, Skull & Saxena / 3 stories by Rohan Koda ; translated by Chiko Irie Makiem

PUB:Tokaid, Vt. ; Tokyo : C.E. Tuttle, 1985

VT:08.五重塔|ゴジュウノトウ

VT:08.対顔囃|オウケン

VT:08.ひげ男にゲオトコ

PHYS:280 p. ; ill. ; 19 cm

NOTE:Translation of Gojū no tō, Tai dōkuro, and Higetoko

FTBL:The books <BA01121434> L/A

AL:幸田 露伴(1867-1947)|ゴウダ, ロハン <DA00680164>

AL:Makiem, Chiko Irie <DA02562870>

この資料は幸田露伴の代表作「五重塔」ほかを英訳したものです。画面のALフィールドに幸田露伴の標目が日本語表示で入っています。著者名典拠レコードとリンクされていると、このように著者名典拠レコードのHDNG部分が転記される仕組みとなっています。このフィールドの末尾に、著者名典拠レコードのIDと同じレコードIDが<>で囲まれて記録されています。これは、自動的に埋め込まれます。このIDがあることによって、著者名典拠レコードと書誌レコードとが相互に参照できる仕組みになっているのです。

[図書書誌検索](#) | [著者名典拠検索](#) | [統一書名典拠検索](#) | [書名照準検索](#) | [ログアウト](#)

図書書誌詳細 (業務用サーバ)

[修正](#) | [適用](#) | [子書誌一覧](#) | [説明一覧に戻る](#) | [所属登録](#) | [所属一覧](#)

BOOK

=BA42771816= CRTDT:19990906 CRIFA:EA002611 RNWDT:19990910 RNWFA:EA000611

GMD: SMD: YEAR:1890 CTRY:jp TTL:jp TXTL:jp ORGL:

ISSN: NBN:JP41010293 LCCN: NDLCN:

REPRO: GPON: OTHER:

TR:草木集 / 蝸牛露伴著|ハズエショウ

PUB:東京 : 春陽堂, 1890.6

VT:VT.小説草木集|ショウセンハズエショウ

PHYS:160p, 図版1枚 ; 19cm

NOTE:ほかに、対顔囃、奇男児、半田真美人

AL:幸田 露伴(1867-1947)|ゴウダ, ロハン <DA00680164>

CL&NDC6913.6

また、検索したレコードの一つを見ると、「葉末集」というタイトルの後ろに記述されている著者名は「蝸牛露伴」となっていますが、前の場合と同様、AL フィールドには「幸田露伴」の著者名典拠レコードから情報が転記されています。

このように、書誌レコードでの責任表示は、資料に表示されているままを記録することになりますが、著者名典拠としてコントロールされた情報は AL フィールドに記録され、この情報が書誌レコードと典拠レコードをつなぐ役割を果たしています。

では、ここで、別の著者名典拠レコードを見てみましょう。著者名典拠検索画面で「栗本 薫」と検索してみます。

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- Navigation links: [図書誌検索] [著者名典拠検索] [統一書名典拠検索] [参加組織検索] [ログアウト]
- Page title: 著者名典拠簡略一覧 (業務用サーバ)
- Buttons: 検索, クリア, 検索
- Display count: 表示件数: 17 件
- Search criteria:
 - AUTH: 栗本 薫
 - AKKEY: [] PLACE: [] DATE: []
 - ID: [] SAID: []
 - FILE: []
- Search results: 検索結果: 2 件
 1. NAME <DA00518213> 栗本, 薫(1953-)
 2. NAME <DA00793138> 中島, 梓(1953-)

すると検索結果が2件となって「栗本，薫」と「中島，梓」が表示されます。実はこの二つの名前はいずれも同一人物を表しています。作家としてのペンネーム「栗本薫」と、評論家としての本名「中島梓」とを使い分けて著作を著している、この例のような場合は、特例として一人の人物に対して複数の著者名典拠レコードを作成することができます。

The screenshot shows the detailed view of the author name dictionary entry with the following information:

- Navigation links: [図書誌検索] [著者名典拠検索] [統一書名典拠検索] [参加組織検索] [ログアウト]
- Page title: 著者名典拠詳細 (業務用サーバ)
- Buttons: 修正, 流用, 簡略一覧に戻る, 書誌一覧
- NAME
- <DA00518213> CRITD:19861217 CRTFA:FA001007 RNWDT:19990708 RNWFA:FA001368
- HDNG:栗本, 薫(1953-)||クレモト, カオル
- TYPE:p
- PLACE:東京
- DATE:1953
- SAF:中島, 梓(1953-)||ナカジマ, アズサ<DA00793138>
- NOTE:「ピラミッド・ミステリー ราชอาณาจักร」(共著)
- NOTE:HDNGは作家名、SAFは本名および評論家名
- NOTE:EDSRC殺意(文藝春秋, 1985.5)
- [ダウンロード]

[図書誌検索](#) | [著者名典拠検索](#) | [統一書名典拠検索](#) | [追加組織検索](#) | [ログアウト](#)

著者名典拠詳細 (業務用サーバ)

NAME

<DA00795138> CRTDT:19870317 CRTFA:EA001798 RNWDT:19930723 RNWFA:EA002010

HDNG:中島, 梓(1953-) | ナカジマ, アズサ

TYPE:p

DATE:1953

SAF:栗本, 薫(1953-) | グリモト, カオル <DA00518213>

NOTE:HDNGは本名および評論家名, SAFは作家名

[\[ダウンロード\]](#)

そしてそれぞれのレコードの中で、お互いの著者名典拠レコードを指し示す情報を SAF フィールドに記録しておきます。このフィールドの末尾に ID が記録されることによってお互いがリンクされることとなります。これによって、どちらか一方の名前で検索を行っても別の名前のレコードも漏れなく検索することが可能となります。

ちなみに両方のレコードがリンクしている書誌レコードを見てみると、「栗本薫」では 142 件、「中島梓」では 23 件となっています。

さて、これまでは著者名典拠レコードから参照機能を見てきましたが、今度は書誌レコードから見てみましょう。

[図書誌検索](#) | [著者名典拠検索](#) | [統一書名典拠検索](#) | [追加組織検索](#) | [ログアウト](#)

図書書誌詳細 (業務用サーバ)

BOOK

<BA40887478> CRTDT:19990423 CRTFA:EA006995 RNWDT:20000531 RNWFA:EA005358

GMD: SMD: YEAR:1999 CTRY:ja TILL:jpn TXTL:jpn ORGL:

ISSN: NBN: LCCN: NDLCN:

REPRO: GPON: OTHER:JLA.99010925

VOL: ISBN:4837506550 PRICE:3000円+税 XISBN:

TR:21世紀の情報システム学 : インターネット時代に向けて / 大槻繁雄, 平井由土共著 [21世紀 ノジョウホウ システムガク : インターネット ジダイニ ムクテ

PUB:東京 : 横書店, 1999.3

PHYS:n, 212p ; 22cm

NOTE:参考引用文献 p[207]-208

AL:大槻, 繁雄(1932-) | オオツキ, シゲオ <DA00651112>

AL:平井, 由土(1944-) | ヒライ, ヨシト <DA04995928>

CLS:ND<C8.007.6

この書誌レコードには、共著者が二人います。そのため、著者名典拠レコードとのリンク関係を表す AL フィールドが二つあります。それぞれのフィールドの末尾にある ID をたどれば該当する著者名典拠レコードを参照することができます。

さらにその著者の別の著作を調べるために今度は書誌一覧を表示させることもできます。このようにして次々と関連する書誌レコード及び著者名典拠レコードを検索表示することができるため、特定主題に関する資料を探す場合など非常に有効です。

4 著者名典拠レコードの作成

ここまでは、既に来上がっていた著者名典拠レコードを元に、どのような利用ができるのかを見てきました。以下では、どのように著者名典拠レコードが作成されるのか、について紹介します。

もっとも著者名典拠レコードの作成といっても、それだけが独立した作業ではなく、書誌レコード作成作業の中の一工程となっています。そこで、まず書誌レコード検索を行い、ヒットレコードを利用して書誌データを作成します。

今回は、「安藤昌益・現代・中国：中日安藤昌益学術討論会文集」という中国で刊行された資料を例にしてご説明しましょう。

図書館誌流用作成 (教育用サーバ)

用書登録 書誌詳細を見る クリア タグ通知

CHMARC

<GC00120009> CRIDT:20000105 RNWDT:20000105

CODE GMD: SMD: YEAR:1993 CNTRY:cc TITLLocH TXTLocH ORGL:

ISSN: NHN: LCCN: NDLCN:

REPRO: GPON: OTHN:

VOL: ISBN:7209012818 PRICE:6.55元 XISBN:

正 安藤昌益・現代・中国 中日安藤昌益学術討論会文集 / 王守华, 李彩华编 [アンドウ ショウエキ ゲンダイ チュウゴク : チュウニチ アンドウ ショウエキ ガクジュツ トウロクカイ プンシユウ] [an teng chang yi * xian dai * zhong guo - zhong ri an teng chang yi xue shu tao lun hui wen ji]

正 济南 : 山东人民出版社, 1993.7

正 317p ; 20cm

正 安藤昌益(1703-1762), 18世紀日本唯物主義哲學家、農民思想家, 本书选编1992年“中日安藤昌益学術討論会”論文400余篇。

AL 王守华 [wang shou hua <> 編

AL 李彩华 [li cai hua <> 編

AL 中日安藤昌益学術討論会 [zhong ri an teng chang yi xue shu tao lun hui <>

リンク クリア 検索

AFLG:

AHDNG:

AHDNCR:

AHDNGVR:

AID:

AF:

この画面は、「安藤昌益・現代・中国：中日安藤昌益学術討論会文集」の書誌レコードを作成するために、CHINA MARC からの流用入力を行って、著者名典拠関係の作業以外については作業を終えた段階です。これから著者名典拠レコードとのリンク作業を行います。

書誌レコードの AL フィールドに「王守華」「李彩華」「中日安藤昌益学術討論会」という文字が入っています。この状態で「リンク」ボタンをクリックすると、まず「王守華」を検索キーとして著者名典拠ファイルを自動的に検索します。

その結果、総合目録データベースに該当するレコードがあれば、総合目録データベースの内容を表示します。なければ参照ファイル中の該当データを表示し、それでもなければ検索結果 0 件と表示されます。

総合目録データベースに該当レコードがあった場合は、その著者名典拠レコードと書誌レコードとを入力担当者がリンクします。ない場合は、新たに著者名典拠レコードを作成した上で書誌レコードとリンクすることになります。

この場合、著者名典拠ファイルに該当するレコードがなかったため、「新規」ボタンをクリックして新規レコード作成用のフォームを表示させ、それにしたがってデータを記述します。

NAME

<DA06355836> CRTDT:20001227 CRTFA:FA012943 RNWDT:20001227 RNWFA:FA012943

HDNG:王, 守华|オウ, シュカ|wang, shou hua

LCAD:

TYPE:p

PLACE:

DATE:

SF:

SAF:

NOTE:src:安藤昌益・現代・中国 : 中日安藤昌益学术讨论会文集

NOTE:山东大学任教

HDNG フィールドにはその著者の名前及び生没年等の付記事項と名前の読みを記述します。DATE 及び PLACE フィールドは、判明している場合には記録します。SF フィールドには後の利用を考えて検索の可能性の高い別名称等があれば記録しておきます。そして、NOTE フィールドにはこの典拠レコードを作成することになった根拠の資料について記録するほか、この著者について同定する上で必要な情報を記録します。

必要な情報を記述した後、「リンク確定」ボタンをクリックすると、著者名典拠レコードとして登録されます。この時点で、登録しようとしている著者名典拠レコードの HDNG フィールド（名称）について、既に登録されている著者名典拠レコードのものと同一形になっていないかが自動的にチェックされます。まったく同一の形であった場合には登録できませんので、新たに作成するレコードの名称に、付記事項を追加して区別しなければなりません。

圖書書誌活用作成(教育用サーバ)

CHEMARC

<G0812808> CRTDT:20001101 RYWDT:20001101

CCCC:CNDA:SEMI-YEAR:1997 CNTRD:-- TITL:zh EXTL:zh ORGL:

ISSN:ISBN LCCT: NDLCT:

REFSO:OPON OREN:

ECL:ISBN7260812810 PRICE:6.50元 XNREN:

ED:安藤昌益・現代・中国 : 中日安藤昌益学术讨论会文集 / 王守华, 安藤昌益|アノウ ショウエキ ゲンダイ シュウゴク シュウニチ アノウ ショウエキ ガクシユフ トウロクイブ
 ブシヨウ [an wang chang yi / ma dai / shang guo / shang xi an wang chang yi ma dai hu hu hu ma.]

出版所: 山东人民出版社, 1997

出版地: 2000

ED:江安藤昌益(700-1762), 江安藤昌益(700-1762)著, 王守华, 安藤昌益(700-1762)著, 1997年, 中日安藤昌益学术讨论会论文集, 480页。

AL:王, 守华|オウ, シュカ|wang, shou hua <DA06355836> 編

AL:王, 守华|オウ, シュカ|wang, shou hua <DA06355837> 編

AL:中日安藤昌益学术讨论会|アノウ ショウエキ ガクシユフ トウロクイブ [an wang chang yi ma dai hu hu hu ma.] <DA06355838>

CLC:CLC03B1345-S3

CLC:00A5 14 33003

URL:CTDI:安藤昌益-思想者社 -- 文集04

このようにして書誌レコードにある AL フィールドの数だけ同様の作業を繰り返します。その結果、書誌レコードの AL フィールドには著者名典拠レコードとして確定された標目が転記されて表示されることになります。こうすることによって典拠コントロールされた名前で検索することが可能となるわけです。

5 著者名典拠レコードの作成支援

5.1 参照ファイルの導入

著者名典拠レコードは、以上の作業を経て作成されます。書誌レコードの場合と同様に、著者名典拠レコード作成においても、作成作業を支援する目的で参照ファイルが用意されています。

各国の国立図書館等では、書誌情報や典拠情報の国際的な交換及び相互利用を行うために、標準的な書誌情報、典拠情報を機械で読める形で作成し提供しています。これを MARC (MACHINE READABLE CATALOGING) といいます。国立情報学研究所ではこの MARC を導入し、フォーマット変換を行い参照ファイルとして NACSIS-CAT の中で提供しています。

MARC としての国際標準として UNIMARC というフォーマットがあります。米国議会図書館の作成する MARC のフォーマットである USMARC フォーマットが事実上の標準となっています。また、日本の国立国会図書館が作成する MARC は UNIMARC フォーマットに準拠した JAPAN/MARC フォーマットです。このように、流通している MARC にはいくつかのフォーマットが存在しています。国立情報学研究所で行っているフォーマット変換の目的は、導入する MARC によるレコードフォーマットの違いを吸収し、NACSIS-CAT における運用方式の一元化を図ることにあります。

具体的な変換方法として JAPAN/MARC の変換仕様を以下に掲げます。

JPNNAME変換仕様

NO	NAME	COMMENT	MARC項目 フィールド	サブフィー ルド	変換(作前)仕様	備考
1	IF	著者名典拠レコードID	なし		MARCレコード変換時に保留テーブルを参照しながら「I」を 取得する。	「I」の取得に失敗した場合は「」とする。
2	CRDTD	レコード作成日付	なし		MARCレコード変換時の年月日を記録する。 訂正レコードによるレコード訂正の場合は書き換えない。	
3	ORACE	元レコードの種類(源泉)	なし		MARCレコード変換時に「J」F」を取得する。	
4	MARCD	元MARCレコードID	001		値をそのまま取得する。	
5	ORWDT	レコード更新日付	なし		訂正レコードによるレコード訂正の場合、訂正した年月日を記 録する。それ以外の場合は作成日付と同じ値を記録する。	
6	UID	レコード更新User ID				
7	MARCDT	MARCレコードステータス	006	Leader/ 05	値をそのまま取得する。	
8	ORCDPLD	MARC更新フラグ				
9	ADRCID	元典拠レコード管理番号	001		値をそのまま取得する。	
10	HEADC	書目表示形式	2XX	\$a, b, c, d, e	\$a, \$b, \$c, \$d, \$e \$a, \$b, \$cを「,」を挿入してストリングする。 \$d, \$e及び301 \$aのどれかが存在する場合、上記の順 に「(」を挿入し、301 \$a, \$b, \$cをスペースを挿入 してストリングし、「)」を付す 2番目は除くについては対象としない	
11	HEADC	書目表示形式の読み			2番目は除く \$XXについて \$a, \$bを「,」を挿入してストリングする。	
12	TEP	タイプ(個人/団体/組織)	201		200が存在すれば「p」を挿入する。 210の場合、 インディケータが「0」ならば「c」を挿入する。 インディケータが「1」ならば「m」を挿入する。	
13	TYM	発行年	001	\$a	値をそのまま取得する。	

JPNAME変換仕様（つづき）

no	NAME	CONTENTS	MARC語法 フィールド	サブフィー ルド	変換（作成）仕様	備考
14	IIIFM	から見よ	403	\$a,b,d,s	(1) 4XX \$7のリンク番号(2~3桁)を対応させて返す。 同一のリンク番号の種のうち、\$7がない4XXについて \$a, \$bを「, △」を挿入してストリングする。 \$d, \$g及び301 \$aのどれかが存在する場合、上記の順に「 <u>く</u> 」を挿入し、301 \$a, \$d, \$gをスペースを挿入してストリングし、「 <u>7</u> 」を付す (2) 2XXの値が複数ある場合で、\$7の値が「ba」の場合、 \$a, \$bを「, △」を挿入してストリングする。 (3) 2XX, 4XXの\$7の値が「dc」のものについて \$a, \$bのデータを別表のカナローマ変換表に従ってローマ字に変換したのち、「, △」を挿入してストリングする。 ただし、結果が(2)で作成したものと同等になる場合は変換結果を捨てる。	(9D) 400 0 \$a \$b \$c 藤山人 400 0 \$a \$b \$c \$d \$e \$f \$g 400 0 \$a \$b \$c \$d \$e \$f \$g \$h \$i \$j \$k \$l \$m \$n \$o \$p \$q \$r \$s \$t \$u \$v \$w \$x \$y \$z \$aa \$ab \$ac \$ad \$ae \$af \$ag \$ah \$ai \$aj \$ak \$al \$am \$an \$ao \$ap \$aq \$ar \$as \$at \$au \$av \$aw \$ax \$ay \$az \$ba \$bb \$bc \$bd \$be \$bf \$bg \$bh \$bi \$bj \$bk \$bl \$bm \$bn \$bo \$bp \$bq \$br \$bs \$bt \$bu \$bv \$bw \$bx \$by \$bz \$ca \$cb \$cc \$cd \$ce \$cf \$cg \$ch \$ci \$cj \$ck \$cl \$cm \$cn \$co \$cp \$cq \$cr \$cs \$ct \$cu \$cv \$cw \$cx \$cy \$cz \$da \$db \$dc \$dd \$de \$df \$dg \$dh \$di \$dj \$dk \$dl \$dm \$dn \$do \$dp \$dq \$dr \$ds \$dt \$du \$dv \$dw \$dx \$dy \$dz \$ea \$eb \$ec \$ed \$ee \$ef \$eg \$eh \$ei \$ej \$ek \$el \$em \$en \$eo \$ep \$eq \$er \$es \$et \$eu \$ev \$ew \$ex \$ey \$ez \$fa \$fb \$fc \$fd \$fe \$ff \$fg \$fh \$fi \$fj \$fk \$fl \$fm \$fn \$fo \$fp \$fq \$fr \$fs \$ft \$fu \$fv \$fw \$fx \$fy \$fz \$ga \$gb \$gc \$gd \$ge \$gf \$gg \$gh \$gi \$gj \$gk \$gl \$gm \$gn \$go \$gp \$gq \$gr \$gs \$gt \$gu \$gv \$gw \$gx \$gy \$gz \$ha \$hb \$hc \$hd \$he \$hf \$hg \$hh \$hi \$hj \$hk \$hl \$hm \$hn \$ho \$hp \$hq \$hr \$hs \$ht \$hu \$hv \$hw \$hx \$hy \$hz \$ia \$ib \$ic \$id \$ie \$if \$ig \$ih \$ii \$ij \$ik \$il \$im \$in \$io \$ip \$iq \$ir \$is \$it \$iu \$iv \$iw \$ix \$iy \$iz \$ja \$jb \$jc \$jd \$je \$jf \$jg \$jh \$ji \$jj \$jk \$jl \$jm \$jn \$jo \$jp \$jq \$jr \$js \$jt \$ju \$jv \$jw \$jx \$jy \$jz \$ka \$kb \$kc \$kd \$ke \$kf \$kg \$kh \$ki \$kj \$kl \$km \$kn \$ko \$kp \$kq \$kr \$ks \$kt \$ku \$kv \$kw \$kx \$ky \$kz \$la \$lb \$lc \$ld \$le \$lf \$lg \$lh \$li \$lj \$lk \$ll \$lm \$ln \$lo \$lp \$lq \$lr \$ls \$lt \$lu \$lv \$lw \$lx \$ly \$lz \$ma \$mb \$mc \$md \$me \$mf \$mg \$mh \$mi \$mj \$mk \$ml \$mm \$mn \$mo \$mp \$mq \$mr \$ms \$mt \$mu \$mv \$mw \$mx \$my \$mz \$na \$nb \$nc \$nd \$ne \$nf \$ng \$nh \$ni \$nj \$nk \$nl \$nm \$nn \$no \$np \$nq \$nr \$ns \$nt \$nu \$nv \$nw \$nx \$ny \$nz \$oa \$ob \$oc \$od \$oe \$of \$og \$oh \$oi \$oj \$ok \$ol \$om \$on \$oo \$op \$oq \$or \$os \$ot \$ou \$ov \$ow \$ox \$oy \$oz \$pa \$pb \$pc \$pd \$pe \$pf \$pg \$ph \$pi \$pj \$pk \$pl \$pm \$pn \$po \$pp \$pq \$pr \$ps \$pt \$pu \$pv \$pw \$px \$py \$pz \$qa \$qb \$qc \$qd \$qe \$qf \$qg \$qh \$qi \$qj \$qk \$ql \$qm \$qn \$qo \$qp \$qq \$qr \$qs \$qt \$qu \$qv \$qw \$qx \$qy \$qz \$ra \$rb \$rc \$rd \$re \$rf \$rg \$rh \$ri \$rj \$rk \$rl \$rm \$rn \$ro \$rp \$rq \$rr \$rs \$rt \$ru \$rv \$rw \$rx \$ry \$rz \$sa \$sb \$sc \$sd \$se \$sf \$sg \$sh \$si \$sj \$sk \$sl \$sm \$sn \$so \$sp \$sq \$sr \$ss \$st \$su \$sv \$sw \$sx \$sy \$sz \$ta \$tb \$tc \$td \$te \$tf \$tg \$th \$ti \$tj \$tk \$tl \$tm \$tn \$to \$tp \$tq \$tr \$ts \$tt \$tu \$tv \$tw \$tx \$ty \$tz \$ua \$ub \$uc \$ud \$ue \$uf \$ug \$uh \$ui \$uj \$uk \$ul \$um \$un \$uo \$up \$uq \$ur \$us \$ut \$uu \$uv \$uw \$ux \$uy \$uz \$va \$vb \$vc \$vd \$ve \$vf \$vg \$vh \$vi \$vj \$vk \$vl \$vm \$vn \$vo \$vp \$vq \$vr \$vs \$vt \$vu \$vv \$vw \$vx \$vy \$vz \$wa \$wb \$wc \$wd \$we \$wf \$wg \$wh \$wi \$wj \$wk \$wl \$wm \$wn \$wo \$wp \$wq \$wr \$ws \$wt \$wu \$wv \$ww \$wx \$wy \$wz \$xa \$xb \$xc \$xd \$xe \$xf \$xg \$xh \$xi \$xj \$xk \$xl \$xm \$xn \$xo \$xp \$xq \$xr \$xs \$xt \$xu \$xv \$xw \$xx \$xy \$xz \$ya \$yb \$yc \$yd \$ye \$yf \$yg \$yh \$yi \$yj \$yk \$yl \$ym \$yn \$yo \$yp \$yq \$yr \$ys \$yt \$yu \$yv \$yw \$yx \$yy \$yz \$za \$zb \$zc \$zd \$ze \$zf \$zg \$zh \$zi \$zj \$zk \$zl \$zm \$zn \$zo \$zp \$zq \$zr \$zs \$zt \$zu \$zv \$zw \$zx \$zy \$zz
	IIIFM	から見よの読み			(1) に対応させて、4XX \$7の値が「dc」である場合のみ \$a, \$bを「, △」を挿入してストリングする。	⇒ 藤山人……(1)による参照形 ⇒ \$a \$b \$c \$d \$e \$f \$g \$h \$i \$j \$k \$l \$m \$n \$o \$p \$q \$r \$s \$t \$u \$v \$w \$x \$y \$z \$aa \$ab \$ac \$ad \$ae \$af \$ag \$ah \$ai \$aj \$ak \$al \$am \$an \$ao \$ap \$aq \$ar \$as \$at \$au \$av \$aw \$ax \$ay \$az \$ba \$bb \$bc \$bd \$be \$bf \$bg \$bh \$bi \$bj \$bk \$bl \$bm \$bn \$bo \$bp \$bq \$br \$bs \$bt \$bu \$bv \$bw \$bx \$by \$bz \$ca \$cb \$cc \$cd \$ce \$cf \$cg \$ch \$ci \$cj \$ck \$cl \$cm \$cn \$co \$cp \$cq \$cr \$cs \$ct \$cu \$cv \$cw \$cx \$cy \$cz \$da \$db \$dc \$dd \$de \$df \$dg \$dh \$di \$dj \$dk \$dl \$dm \$dn \$do \$dp \$dq \$dr \$ds \$dt \$du \$dv \$dw \$dx \$dy \$dz \$ea \$eb \$ec \$ed \$ee \$ef \$eg \$eh \$ei \$ej \$ek \$el \$em \$en \$eo \$ep \$eq \$er \$es \$et \$eu \$ev \$ew \$ex \$ey \$ez \$fa \$fb \$fc \$fd \$fe \$ff \$fg \$fh \$fi \$fj \$fk \$fl \$fm \$fn \$fo \$fp \$fq \$fr \$fs \$ft \$fu \$fv \$fw \$fx \$fy \$fz \$ga \$gb \$gc \$gd \$ge \$gf \$gg \$gh \$gi \$gj \$gk \$gl \$gm \$gn \$go \$gp \$gq \$gr \$gs \$gt \$gu \$gv \$gw \$gx \$gy \$gz \$ha \$hb \$hc \$hd \$he \$hf \$hg \$hh \$hi \$hj \$hk \$hl \$hm \$hn \$ho \$hp \$hq \$hr \$hs \$ht \$hu \$hv \$hw \$hx \$hy \$hz \$ia \$ib \$ic \$id \$ie \$if \$ig \$ih \$ii \$ij \$ik \$il \$im \$in \$io \$ip \$iq \$ir \$is \$it \$iu \$iv \$iw \$ix \$iy \$iz \$ja \$jb \$jc \$jd \$je \$jf \$jg \$jh \$ji \$jj \$jk \$jl \$jm \$jn \$jo \$jp \$jq \$jr \$js \$jt \$ju \$jv \$jw \$jx \$jy \$jz \$ka \$kb \$kc \$kd \$ke \$kf \$kg \$kh \$ki \$kj \$kl \$km \$kn \$ko \$kp \$kq \$kr \$ks \$kt \$ku \$kv \$kw \$kx \$ky \$kz \$la \$lb \$lc \$ld \$le \$lf \$lg \$lh \$li \$lj \$lk \$ll \$lm \$ln \$lo \$lp \$lq \$lr \$ls \$lt \$lu \$lv \$lw \$lx \$ly \$lz \$ma \$mb \$mc \$md \$me \$mf \$mg \$mh \$mi \$mj \$mk \$ml \$mm \$mn \$mo \$mp \$mq \$mr \$ms \$mt \$mu \$mv \$mw \$mx \$my \$mz \$na \$nb \$nc \$nd \$ne \$nf \$ng \$nh \$ni \$nj \$nk \$nl \$nm \$nn \$no \$np \$nq \$nr \$ns \$nt \$nu \$nv \$nw \$nx \$ny \$nz \$oa \$ob \$oc \$od \$oe \$of \$og \$oh \$oi \$oj \$ok \$ol \$om \$on \$oo \$op \$oq \$or \$os \$ot \$ou \$ov \$ow \$ox \$oy \$oz \$pa \$pb \$pc \$pd \$pe \$pf \$pg \$ph \$pi \$pj \$pk \$pl \$pm \$pn \$po \$pp \$pq \$pr \$ps \$pt \$pu \$pv \$pw \$px \$py \$pz \$qa \$qb \$qc \$qd \$qe \$qf \$qg \$qh \$qi \$qj \$qk \$ql \$qm \$qn \$qo \$qp \$qq \$qr \$qs \$qt \$qu \$qv \$qw \$qx \$qy \$qz \$ra \$rb \$rc \$rd \$re \$rf \$rg \$rh \$ri \$rj \$rk \$rl \$rm \$rn \$ro \$rp \$rq \$rr \$rs \$rt \$ru \$rv \$rw \$rx \$ry \$rz \$sa \$sb \$sc \$sd \$se \$sf \$sg \$sh \$si \$sj \$sk \$sl \$sm \$sn \$so \$sp \$sq \$sr \$ss \$st \$su \$sv \$sw \$sx \$sy \$sz \$ta \$tb \$tc \$td \$te \$tf \$tg \$th \$ti \$tj \$tk \$tl \$tm \$tn \$to \$tp \$tq \$tr \$ts \$tt \$tu \$tv \$tw \$tx \$ty \$tz \$ua \$ub \$uc \$ud \$ue \$uf \$ug \$uh \$ui \$uj \$uk \$ul \$um \$un \$uo \$up \$uq \$ur \$us \$ut \$uu \$uv \$uw \$ux \$uy \$uz \$va \$vb \$vc \$vd \$ve \$vf \$vg \$vh \$vi \$vj \$vk \$vl \$vm \$vn \$vo \$vp \$vq \$vr \$vs \$vt \$vu \$vv \$vw \$vx \$vy \$vz \$wa \$wb \$wc \$wd \$we \$wf \$wg \$wh \$wi \$wj \$wk \$wl \$wm \$wn \$wo \$wp \$wq \$wr \$ws \$wt \$wu \$wv \$ww \$wx \$wy \$wz \$xa \$xb \$xc \$xd \$xe \$xf \$xg \$xh \$xi \$xj \$xk \$xl \$xm \$xn \$xo \$xp \$xq \$xr \$xs \$xt \$xu \$xv \$xw \$xx \$xy \$xz \$ya \$yb \$yc \$yd \$ye \$yf \$yg \$yh \$yi \$yj \$yk \$yl \$ym \$yn \$yo \$yp \$yq \$yr \$ys \$yt \$yu \$yv \$yw \$yx \$yy \$yz \$za \$zb \$zc \$zd \$ze \$zf \$zg \$zh \$zi \$zj \$zk \$zl \$zm \$zn \$zo \$zp \$zq \$zr \$zs \$zt \$zu \$zv \$zw \$zx \$zy \$zz
15					(1) に対応させて、4XX \$7の値が「dc」である場合のみ \$a, \$bを「, △」を挿入してストリングする。	⇒ \$abscmir……(1)によるローマ字形 ⇒ \$abscmir……(1)によるローマ字形

JPNAME変換仕様（つづき）

no	NAME	CONTENTS	MARC語法 フィールド	サブフィー ルド	変換（作成）仕様	備考
16	SEDAF	をも見よ	503	\$a,b,c,d,s	5XX \$7のリンク番号(2~3桁)を対応させて返す。 (1)同一のリンク番号の種のうち、\$7がない5XXについて \$a, \$b, \$cを「, △」を挿入してストリングする。 \$d, \$g及び301 \$aのどれかが存在する場合、上記の順に「 <u>く</u> 」を挿入し、301 \$a, \$d, \$gをスペースを挿入してストリングし、「 <u>7</u> 」を付す。	(9D) 500 1 \$a \$b \$c \$d \$e \$f \$g \$h \$i \$j \$k \$l \$m \$n \$o \$p \$q \$r \$s \$t \$u \$v \$w \$x \$y \$z \$aa \$ab \$ac \$ad \$ae \$af \$ag \$ah \$ai \$aj \$ak \$al \$am \$an \$ao \$ap \$aq \$ar \$as \$at \$au \$av \$aw \$ax \$ay \$az \$ba \$bb \$bc \$bd \$be \$bf \$bg \$bh \$bi \$bj \$bk \$bl \$bm \$bn \$bo \$bp \$bq \$br \$bs \$bt \$bu \$bv \$bw \$bx \$by \$bz \$ca \$cb \$cc \$cd \$ce \$cf \$cg \$ch \$ci \$cj \$ck \$cl \$cm \$cn \$co \$cp \$cq \$cr \$cs \$ct \$cu \$cv \$cw \$cx \$cy \$cz \$da \$db \$dc \$dd \$de \$df \$dg \$dh \$di \$dj \$dk \$dl \$dm \$dn \$do \$dp \$dq \$dr \$ds \$dt \$du \$dv \$dw \$dx \$dy \$dz \$ea \$eb \$ec \$ed \$ee \$ef \$eg \$eh \$ei \$ej \$ek \$el \$em \$en \$eo \$ep \$eq \$er \$es \$et \$eu \$ev \$ew \$ex \$ey \$ez \$fa \$fb \$fc \$fd \$fe \$ff \$fg \$fh \$fi \$fj \$fk \$fl \$fm \$fn \$fo \$fp \$fq \$fr \$fs \$ft \$fu \$fv \$fw \$fx \$fy \$fz \$ga \$gb \$gc \$gd \$ge \$gf \$gg \$gh \$gi \$gj \$gk \$gl \$gm \$gn \$go \$gp \$gq \$gr \$gs \$gt \$gu \$gv \$gw \$gx \$gy \$gz \$ha \$hb \$hc \$hd \$he \$hf \$hg \$hh \$hi \$hj \$hk \$hl \$hm \$hn \$ho \$hp \$hq \$hr \$hs \$ht \$hu \$hv \$hw \$hx \$hy \$hz \$ia \$ib \$ic \$id \$ie \$if \$ig \$ih \$ii \$ij \$ik \$il \$im \$in \$io \$ip \$iq \$ir \$is \$it \$iu \$iv \$iw \$ix \$iy \$iz \$ja \$jb \$jc \$jd \$je \$jf \$jg \$jh \$ji \$jj \$jk \$jl \$jm \$jn \$jo \$jp \$jq \$jr \$js \$jt \$ju \$jv \$jw \$jx \$jy \$jz \$ka \$kb \$kc \$kd \$ke \$kf \$kg \$kh \$ki \$kj \$kl \$km \$kn \$ko \$kp \$kq \$kr \$ks \$kt \$ku \$kv \$kw \$kx \$ky \$kz \$la \$lb \$lc \$ld \$le \$lf \$lg \$lh \$li \$lj \$lk \$ll \$lm \$ln \$lo \$lp \$lq \$lr \$ls \$lt \$lu \$lv \$lw \$lx \$ly \$lz \$ma \$mb \$mc \$md \$me \$mf \$mg \$mh \$mi \$mj \$mk \$ml \$mm \$mn \$mo \$mp \$mq \$mr \$ms \$mt \$mu \$mv \$mw \$mx \$my \$mz \$na \$nb \$nc \$nd \$ne \$nf \$ng \$nh \$ni \$nj \$nk \$nl \$nm \$nn \$no \$np \$nq \$nr \$ns \$nt \$nu \$nv \$nw \$nx \$ny \$nz \$oa \$ob \$oc \$od \$oe \$of \$og \$oh \$oi \$oj \$ok \$ol \$om \$on \$oo \$op \$oq \$or \$os \$ot \$ou \$ov \$ow \$ox \$oy \$oz \$pa \$pb \$pc \$pd \$pe \$pf \$pg \$ph \$pi \$pj \$pk \$pl \$pm \$pn \$po \$pp \$pq \$pr \$ps \$pt \$pu \$pv \$pw \$px \$py \$pz \$qa \$qb \$qc \$qd \$qe \$qf \$qg \$qh \$qi \$qj \$qk \$ql \$qm \$qn \$qo \$qp \$qq \$qr \$qs \$qt \$qu \$qv \$qw \$qx \$qy \$qz \$ra \$rb \$rc \$rd \$re \$rf \$rg \$rh \$ri \$rj \$rk \$rl \$rm \$rn \$ro \$rp \$rq \$rr \$rs \$rt \$ru \$rv \$rw \$rx \$ry \$rz \$sa \$sb \$sc \$sd \$se \$sf \$sg \$sh \$si \$sj \$sk \$sl \$sm \$sn \$so \$sp \$sq \$sr \$ss \$st \$su \$sv \$sw \$sx \$sy \$sz \$ta \$tb \$tc \$td \$te \$tf \$tg \$th \$ti \$tj \$tk \$tl \$tm \$tn \$to \$tp \$tq \$tr \$ts \$tt \$tu \$tv \$tw \$tx \$ty \$tz \$ua \$ub \$uc \$ud \$ue \$uf \$ug \$uh \$ui \$uj \$uk \$ul \$um \$un \$uo \$up \$uq \$ur \$us \$ut \$uu \$uv \$uw \$ux \$uy \$uz \$va \$vb \$vc \$vd \$ve \$vf \$vg \$vh \$vi \$vj \$vk \$vl \$vm \$vn \$vo \$vp \$vq \$vr \$vs \$vt \$vu \$vv \$vw \$vx \$vy \$vz \$wa \$wb \$wc \$wd \$we \$wf \$wg \$wh \$wi \$wj \$wk \$wl \$wm \$wn \$wo \$wp \$wq \$wr \$ws \$wt \$wu \$wv \$ww \$wx \$wy \$wz \$xa \$xb \$xc \$xd \$xe \$xf \$xg \$xh \$xi \$xj \$xk \$xl \$xm \$xn \$xo \$xp \$xq \$xr \$xs \$xt \$xu \$xv \$xw \$xx \$xy \$xz \$ya \$yb \$yc \$yd \$ye \$yf \$yg \$yh \$yi \$yj \$yk \$yl \$ym \$yn \$yo \$yp \$yq \$yr \$ys \$yt \$yu \$yv \$yw \$yx \$yy \$yz \$za \$zb \$zc \$zd \$ze \$zf \$zg \$zh \$zi \$zj \$zk \$zl \$zm \$zn \$zo \$zp \$zq \$zr \$zs \$zt \$zu \$zv \$zw \$zx \$zy \$zz
	SEDAF	をも見よの読み			(1)に対応させて、5XX \$7の値が「dc」である場合のみ \$a, \$bを「, △」を挿入してストリングする。	⇒ 漢字、重(1963) (9D) 500 1 \$a \$b \$c \$d \$e \$f \$g \$h \$i \$j \$k \$l \$m \$n \$o \$p \$q \$r \$s \$t \$u \$v \$w \$x \$y \$z \$aa \$ab \$ac \$ad \$ae \$af \$ag \$ah \$ai \$aj \$ak \$al \$am \$an \$ao \$ap \$aq \$ar \$as \$at \$au \$av \$aw \$ax \$ay \$az \$ba \$bb \$bc \$bd \$be \$bf \$bg \$bh \$bi \$bj \$bk \$bl \$bm \$bn \$bo \$bp \$bq \$br \$bs \$bt \$bu \$bv \$bw \$bx \$by \$bz \$ca \$cb \$cc \$cd \$ce \$cf \$cg \$ch \$ci \$cj \$ck \$cl \$cm \$cn \$co \$cp \$cq \$cr \$cs \$ct \$cu \$cv \$cw \$cx \$cy \$cz \$da \$db \$dc \$dd \$de \$df \$dg \$dh \$di \$dj \$dk \$dl \$dm \$dn \$do \$dp \$dq \$dr \$ds \$dt \$du \$dv \$dw \$dx \$dy \$dz \$ea \$eb \$ec \$ed \$ee \$ef \$eg \$eh \$ei \$ej \$ek \$el \$em \$en \$eo \$ep \$eq \$er \$es \$et \$eu \$ev \$ew \$ex \$ey \$ez \$fa \$fb \$fc \$fd \$fe \$ff \$fg \$fh \$fi \$fj \$fk \$fl \$fm \$fn \$fo \$fp \$fq \$fr \$fs \$ft \$fu \$fv \$fw \$fx \$fy \$fz \$ga \$gb \$gc \$gd \$ge \$gf \$gg \$gh \$gi \$gj \$gk \$gl \$gm \$gn \$go \$gp \$gq \$gr \$gs \$gt \$gu \$gv \$gw \$gx \$gy \$gz \$ha \$hb \$hc \$hd \$he \$hf \$hg \$hh \$hi \$hj \$hk \$hl \$hm \$hn \$ho \$hp \$hq \$hr \$hs \$ht \$hu \$hv \$hw \$hx \$hy \$hz \$ia \$ib \$ic \$id \$ie \$if \$ig \$ih \$ii \$ij \$ik \$il \$im \$in \$io \$ip \$iq \$ir \$is \$it \$iu \$iv \$iw \$ix \$iy \$iz \$ja \$jb \$jc \$jd \$je \$jf \$jg \$jh \$ji \$jj \$jk \$jl \$jm \$jn \$jo \$jp \$jq \$jr \$js \$jt \$ju \$jv \$jw \$jx \$jy \$jz \$ka \$kb \$kc \$kd \$ke \$kf \$kg \$kh \$ki \$kj \$kl \$km \$kn \$ko \$kp \$kq \$kr \$ks \$kt \$ku \$kv \$kw \$kx \$ky \$kz \$la \$lb \$lc \$ld \$le \$lf \$lg \$lh \$li \$lj \$lk \$ll \$lm \$ln \$lo \$lp \$lq \$lr \$ls \$lt \$lu \$lv \$lw \$lx \$ly \$lz \$ma \$mb \$mc \$md \$me \$mf \$mg \$mh \$mi \$mj \$mk \$ml \$mm \$mn \$mo \$mp \$mq \$mr \$ms \$mt \$mu \$mv \$mw \$mx \$my \$mz \$na \$nb \$nc \$nd \$ne \$nf \$ng \$nh \$ni \$nj \$nk \$nl \$nm \$nn \$no \$np \$nq \$nr \$ns \$nt \$nu \$nv \$nw \$nx \$ny \$nz \$oa \$ob \$oc \$od \$oe \$of \$og \$oh \$oi \$oj \$ok \$ol \$om \$on \$oo \$op \$oq \$or \$os \$ot \$ou \$ov \$ow \$ox \$oy \$oz \$pa \$pb \$pc \$pd \$pe \$pf \$pg \$ph \$pi \$pj \$pk \$pl \$pm \$pn \$po \$pp \$pq \$pr \$ps \$pt \$pu \$pv \$pw \$px \$py \$pz \$qa \$qb \$qc \$qd \$qe \$qf \$qg \$qh \$qi \$qj \$qk \$ql \$qm \$qn \$qo \$qp \$qq \$qr \$qs \$qt \$qu \$qv \$qw \$qx \$qy \$qz \$ra \$rb \$rc \$rd \$re \$rf \$rg \$rh \$ri \$rj \$rk \$rl \$rm \$rn \$ro \$rp \$rq \$rr \$rs \$rt \$ru \$rv \$rw \$rx \$ry \$rz \$sa \$sb \$sc \$sd \$se \$sf \$sg \$sh \$si \$sj \$sk \$sl \$sm \$sn \$so \$sp \$sq \$sr \$ss \$st \$su \$sv \$sw \$sx \$sy \$sz \$ta \$tb \$tc \$td \$te \$tf \$tg \$th \$ti \$tj \$tk \$tl \$tm \$tn \$to \$tp \$tq \$tr \$ts \$tt \$tu \$tv \$tw \$tx \$ty \$tz \$ua \$ub \$uc \$ud \$ue \$uf \$ug \$uh \$ui \$uj \$uk \$ul \$um \$un \$uo \$up \$uq \$ur \$us \$ut \$uu \$uv \$uw \$ux \$uy \$uz \$va \$vb \$vc \$vd \$ve \$vf \$vg \$vh \$vi \$vj \$vk \$vl \$vm \$vn \$vo \$vp \$vq \$vr \$vs \$vt \$vu \$vv \$vw \$vx \$vy \$vz \$wa \$wb \$wc \$wd \$we \$wf \$wg \$wh \$wi \$wj \$wk \$wl \$wm \$wn \$wo \$wp \$wq \$wr \$ws \$wt \$wu \$wv \$ww \$wx \$wy \$wz \$xa \$xb \$xc \$xd \$xe \$xf \$xg \$xh \$xi \$xj \$xk \$xl \$xm \$xn \$xo \$xp \$xq \$xr \$xs \$xt \$xu \$xv \$xw \$xx \$xy \$xz \$ya \$yb \$yc \$yd \$ye \$yf \$yg \$yh \$yi \$yj \$yk \$yl \$ym \$yn \$yo \$yp \$yq \$yr \$ys \$yt \$yu \$yv \$yw \$yx \$yy \$yz \$za \$zb \$zc \$zd \$ze \$zf \$zg \$zh \$zi \$zj \$zk \$zl \$zm \$zn \$zo \$zp \$zq \$zr \$zs \$zt \$zu \$zv \$zw \$zx \$zy \$zz
18	SE	注記	303	\$a	値をそのまま取る。	
			010	\$a,b,c	(1)\$aの値が「典拠」のリテラルで始まっている場合、「 <u>照</u> 」のリテラルを付した後、\$a, \$bをスペースを挿入してストリングする。さらに\$aが存在する場合は上記の結果に「 <u>く</u> 」の後に\$aの値を挿入して「 <u>7</u> 」を付す。 (2)\$aの値が「典拠」のリテラルで始まっている場合、値をそのまま取る。	
			010	\$a	値をそのまま取る。	
			011	\$a	値をそのまま取る。	
19	SEGL1	詳細なフィールド	011	変換されなかったサブフィールドのデータ	i) タグ番号の前に「V」を挿入する。 ii) タグ番号の後に「:」を挿入する。 iii) サブフィールド識別子は「\$」に替える。	(9D) \$M:xxxx~xxxxW01:xxxx~xxxxW000~ Leader

JAPAN/MARC 著者名典拠ファイルでは、漢字形、カナ形及びローマ字形という文字種毎のデータを、制御サブフィールドを用いてフィールドを繰り返すことによって表現しています。例えば標目表示形に当るフィールド 200 の部分では、カナ形の場合、制御サブフィールド\$7 に dc が、ローマ字形の場合には ba が設定されています。漢字形の場合は、デフォルトとして省略されます。

標目表示形となる部分は、フィールド 200 の\$a, \$b, \$c, \$d, \$g, 及びフィールド 301 の\$a で構成されます。フィールド 200 の\$a, \$b, \$c が個人名の姓と名にあたるデータです。付記事項は、世系を表す\$d, その他の付記事項を表す\$g,

さらに生没年を表すフィールド 301\$a を利用して丸括弧の中に収めます。生没年等は\$f にも記録されていますが、この部分のデータは、西暦年の後に「生」という文字が付与された形となっていて NACSIS-CAT での記述方法と異なっているため、こちらは採用せずに変換時にはフィールド 301\$a を使っています。

これに対して標目表示形の読みの場合は、同じフィールド 200 が繰り返されているうちの制御サブフィールド \$7 が dc の場合だけを探して編集しています。

以下同様に、から見よ参照の場合も、からも見よ参照の場合も、制御サブフィールドの有無によって編集方法を変えながら変換しています。

JAPAN/MARC 著者名典拠ファイルは、現在のところ、国立国会図書館が昭和 23 年以降に受入整理した資料に基づいて作成された日本人著者名典拠レコード（個人名）だけが収録対象となっていて、団体名や会議名については対象になっていません。

一方、USMARC 著者名典拠ファイルでは、個人名のほかに、団体名及び会議名も収録対象となっています。

個人名の標目表示形となる部分は、フィールド 100 の\$a（姓名）、\$b（世系）、\$c（名前と結びついた称号等）、\$d（生没年）、及び\$q（名前の完全形）で構成されます。付記事項は、\$b、\$c 及び\$d を「」（スペース）で区切って編集し、さらに\$q を丸括弧の中に入れて編集します。

団体名の場合は、フィールド 110 の\$a（団体の名称）、\$b（下部組織）、\$c（会議の開催地）、\$d（会議の開催日又は設立日）、及び\$n（パート、セクション又は会議の番号）で構成されます。標目表示形の基本部分は、\$a、\$b を「」で区切って編集します。付記事項は、丸括弧を付して\$n、\$d 及び\$c を「：」で区切って編集します。

会議名の場合は、フィールド 111 の\$a（会議の名称）、\$c（会議の開催地）、\$d（会議の開催日）、\$e（下部組織）、\$q（会議の名称に続く名称）及び\$n（パート、セクション又は会議の番号）で構成されます。標目表示形の基本部分は、\$a、\$e、\$q を「」で区切って編集します。付記事項は、丸括弧を付して\$n、\$d 及び\$c を「：」で区切って編集します。

以下、から見よ参照の場合も、からも見よ参照の場合も同様に変換します。

5.2 リンク形成作業中の支援

目録システムでは、入力担当者が典拠リンク作業を行っている過程で、該当する典拠レコードが総合目録データベース又は参照ファイルに存在しなかった場合には、新規に典拠レコードを作成する必要があります。

通常、リンク作業のはじめに行う検索の時には、参照ファイルを流用して書誌レコード作成を行っていれば、書誌レコードの AL フィールドに記録されている情報を利用しますが、様々な形で検索を試みていくと AL フィールドに記録されていた情報が跡形もなくなってしまうことがしばしばあります。

そのような場合でも、典拠レコードを新規に作成する時点で、参照ファイルで採用されていた著者標目を利用できるように、書誌レコードの AL フィールドの情報を自動的に再利用できるようにしています。

これによって、典拠レコード検索時に検索キーをあれこれ変更して検索する機会を増やし、典拠レコード検索における検索漏れを減らすことが可能となっています。また、典拠レコード新規作成時の省力化にもつながっています。

6 著者名典拠レコードの修正

NACSIS-CAT のレコードのうち、書誌レコードと典拠レコードは、参加機関が共有しているレコードであり、その品質の維持については、第一に各データ入力担当者が確認作業を行うことになっています。すなわち、NACSIS-CAT では、データ入力担当者は誰でも典拠レコードの修正をすることが可能であり、そのためのルールが定められています。

典拠レコードを修正するためには、「目録システムコーディングマニュアル」第 25 章に定められている「著者名典拠レコード（日本名）修正」指針に従って作業を行う必要があります。

その指針では、ある定められたフィールドに対して修正を行う場合には、その結果を国立情報学研究所に報告する義務が生じます。そうすることによって、重要な修正が行われた場合の確認と、その典拠レコードを利用している参加機関への修正の周知が可能となります。ただし、書誌レコードの場合のように、レコードの作成館に対して連絡をとって協議する方法は採用していません。

ところで、書誌レコードにおける AL フィールド、典拠レコードにおける SAF フィールドのような、リンク関係を表現するために用意されたフィールドには、対応する典拠レコードの ID 以外に標目形も転記されています。

そのため、修正指針に従って典拠レコードが修正された場合、対応する書誌レコード又は典拠レコードの該当部分も合わせて修正しておかないとデータの整合性が取れなくなってしまう。そこで、NACSIS-CAT では、リンク元レコード（典拠レコード）が修正されると自動的にそれぞれのリンクフィールドも書き換えるような仕組みになっています。

おわりに

以上、NACSIS-CAT における著者名典拠レコードの参照機能とレコード作成方法とをご紹介しました。

2000 年 12 月末現在で、NACSIS-CAT におけるデータベースの収納件数は、図書書誌レコードが約 560 万件、図書所蔵レコードが約 5,050 万件、そして著者名典拠レコードが約 115 万件となっています。1984 年 12 月に、共同分担目録を標榜して運用を開始してから 16 年で、これだけの規模のデータベースに成長したことになります。

このように発展してきた NACSIS-CAT の中で、著者名典拠レコードが果たしてきた役割や特徴などをまとめれば次のようになります。

- (1) NACSIS-CAT で著者名典拠のコントロールをすることによって、従来各図書館において個々に行われてきた典拠コントロール作業を省力化、集中化することが可能となった。
- (2) 共同分担目録の一環として、全国の目録担当者が、データ修正指針などの標準化されたマニュアル類に基づいて、著者名典拠データの入力、確認、充実などに従事することによって、典拠コントロールの意義と重要性について、共通理解が深まった。
- (3) 典拠ファイルとして独立してデータベースがあるのではなく、リンクという仕組みを通して書誌データベースと密接に連携している。このことに

よって、典拠コントロールを系統的に効率的に実施することが可能となっている。

- (4) リンクされていることによって、典拠レコードの維持管理が非常に容易になっている。
- (5) 標準的な MARC データベースを参照ファイルとして導入することによって、典拠レコード作成に掛かる負担の軽減を図ることが可能となった。

NACISIS-CAT は、2000 年 1 月から中国語資料に関する目録データを入力できるようになったところであり、2002 年にはハングル資料の入力環境を整えることを計画しています。さらにアラビア語、タイ語など非欧米系言語の資料についての入力環境整備が予定されています。

その中で、著者名典拠についても、それぞれどのように取扱っていくかを検討することになっており、この検討結果を基によりよいシステムへの改良やマニュアル整備を進めていくこととなります。